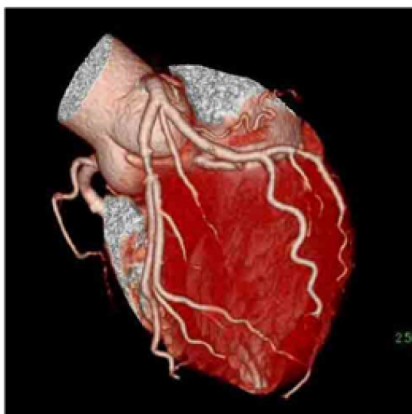


# 心臓CT検査

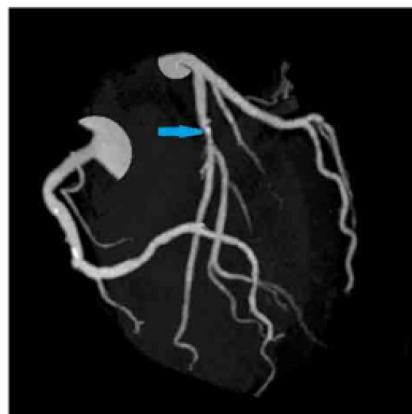
狭心症、急性心筋梗塞は冠動脈（心臓を栄養する血管）が動脈硬化を起こし、細くなったり、急に詰まったりすることによって起こります。突然発症し、直接命にかかわる心臓病です。何より早期発見、早期治療がとても大切です。冠動脈は、常に拍動する心臓の表面を走る2mm～3.5mmの非常に細い血管です。CT検査で冠動脈を写し出すには高度の知識と豊富な経験が必要です。当院ではスタッフの熱意のもと、最新鋭のCT装置（ドイツ・シーメンス社製）と高機能画像診断装置を駆使して冠動脈の狭窄の程度、血管壁の性状、ステント治療後の状態を的確に診断していきます。従来のカテーテル検査に比べて患者さんの負担や危険は格段に少なくまさに画期的な検査方法です。



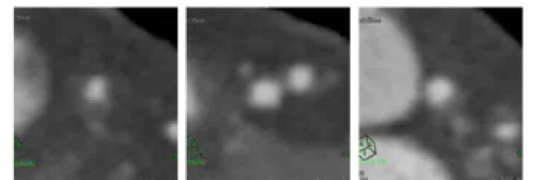
ドイツ・シーメンス社製CT装置



〈VR〉



〈MIP〉



〈CPR〉